

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 交通安全施設の整備	② 施策番号	5103
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	3 交通安全の推進		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
都市整備部	道路課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	道路利用者
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	道路環境の維持・向上を図り安全に通行できる状態にする。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	高齢化が推し進むなか車社会による交通事故の割合が増加しており通学路等の安全確保や交通安全に対するニーズが年々高まってきている状況。

[2] 施策指標及び推移

	施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
①	処理件数 計算式: 処理件数/要望件数	%	整備ニーズに対する対応率が把握できる。
②	計算式:		
③	計算式:		

指標名		単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
①	処理件数	%	目標値	19	26	22	—	—	
			実績値	42	26	22	—	—	
			達成率	221.1%	100.0%	100.0%			
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

No.	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	交通安全施設等整備事業	処理件数	件	26	22	—	19,213	20,160	20,654	B	イ a	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						19,213	20,160	20,654			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのよう貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	交通安全施設の整備を図る事は、道路利用者の交通安全を推進する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	積み残していた要望についても、一定整備対応ができた。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	役割分担としては適切と考える。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	本事務事業としては、適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	交通安全施設等の整備を適切に実施する事は、当該施設の推進に適正であり継続の必要あり。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	交通安全対策としては、自転車・歩行者・自動車道の完全分離等の抜本対策が考えられるが、用地取得等、予算の関係においても難しい問題である。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	整備の必要な箇所への優先順位付け。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	地域や個人の安全意識の向上を図る。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	整備方針が必要と考える箇所の選定及び計画、整備方針策定。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	引き続き優先順位をつけて計画的に交通安全施設の整備を進められたい。 今後の交通安全施設の整備を適切に進めるため、計画や整備方針策定に向けた検討を併せて進められたい。	